

【事例】水門管理システムの再構築（東京都）

背景・目的

- 現行（平成22年度当時）の水門管理システムは、老朽化による故障の発生、職員の退職に伴う執行体制の見直しが課題
- システム再構築による効果の検証

事例概要

- 新システムの稼動に伴う業務の省略化や各施設の点検業務の委託化等により、人員配置を見直し、より機能的な体制で運用・管理を実施
- 平成23年度予算編成の過程で、再構築前後の管理・運用に係るコストについて、発生主義ベースで試算

《システム再構築前後のコスト比較（発生主義ベース）》

区分	再構築前 (15年度)	再構築後 (23年度)	差引
人件費	598百万円	223百万円	△375百万円
事業費	436百万円	589百万円	153百万円
都債金利	—	34百万円	34百万円
合計	1,034百万円	846百万円	△188百万円

※人件費には、退職給与引当金繰入額含む。

- ⇒ 再構築後は点検業務の委託化やシステムの保守管理などにより事業費は増加するものの、人件費の大幅な縮減によって、年間188百万円のコスト縮減が可能であることがわかる。

効果等

- 以上の試算の結果、新システムの運用に係る所要の経費を計上することとし、水門の管理・運用に係るコストを削減
- 新システムの運用状況などを踏まえ、今後とも人員体制やコストを精査し、安全かつ効率的に施設の管理・運用を実施

セグメント分析（予算編成への活用）

【事例】eラーニング研修の全庁展開（東京都）

背景・目的

- これまで(平成21年度当時)は集合研修が中心だったが、インターネットなどの普及に伴い、ITを使用した新たな研修手法(eラーニング)の活用が求められている
- eラーニングの導入による効果の検証

事例概要

- 平成22年度予算編成の過程で、事業手法変更の効果について、eラーニングを導入した場合のコストと、変更せず従来の手法のまま実施する場合のコストを、発生主義ベースで試算

<発生主義ベース>

区 分	従来の手法	新たな手法
教 材 費	17 万円	85 万円
システム開発・運用	—	662 万円
通常のコスト比較(小計)	17 万円	747 万円
講 師 給 与	13 人 83 万円	0 人 —
研修期間中の研修生給与	945 人 3,591 万円	945 人 898 万円
旅 費	945 人 189 万円	0 人 —
フルコスト比較(総計)	3,880 万円	1,645 万円
研修生一人当たりコスト	4.1 万円	1.7 万円

- ⇒ eラーニングの導入によるフルコスト(研修期間中の研修生の給与も含む)を試算すると、システム開発・運用経費が必要となるものの、給与等の削減により、従来の手法に比べてコストが半分以下となることがわかる。

効果等

- 以上の試算の結果、研修科目の一部についてeラーニングによる展開を行うこととし、研修に要するコストを削減
- eラーニングについては、一層の研修効果の向上や業務との両立といった観点から引き続き検証